

2025 年 1 月吉日

各位

一般社団法人こころスマイルプロジェクト

代表理事 志村知穂

みやぎチャレンジプロジェクトのお知らせとお願い

謹啓

新年を迎えまして、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊社団の子ども支援活動に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

このたび弊社団は、宮城県共同募金会様の「みやぎチャレンジプロジェクト」への参加を承認され、広く募金活動を行う運びとなりました。弊社団への暖かいご支援をも賜りますならば幸いに存じます。

今年度の募金活動では、昨年度に引き続き「家族を亡くした子どもたちのグリーフケア」の充実を目標として掲げております。東日本大震災で肉親を亡くした子供たちへのケアの他に、支援対象を病気や事故で親を亡くした子供たちまで広げ、個別相談と見守りサポートを広げて参ります。なお、本年度のみやぎチャレンジプロジェクトでは第一目標額の 200 万円に加えて「セカンドチャレンジ」として 100 万円を設定しております。弊社団が拠点として所有するトレーラーハウスに経年損傷が生じたため、その修繕費としてこの 100 万円を活用させて頂きたく存じます。

弊社団では 2011 年の東日本大震災以来、石巻市に拠点を置き、被災地域の子どもたちへの支援活動を進めて参りました。特にここ数年来、重点的に取り組んでおります課題は、子どもたちが心に抱えている癒し難い哀しみ・怒り・喪失感(グリーフ)への対処であります。震災から 10 年以上が経過し、当時幼稚園児であった子どもたちも、いまや思春期の高校生となっています。とりわけ震災で肉親を喪った子どもたちは、年齢が上がるにつれて、肉親の死という現実と向き合うこととなり、一層の哀しみを抱え、不登校や精神障害を発症するケースも増えていきます。さらに、新型コロナの流行に伴い、家庭環境が激変した子どもたちが少なからずおります。このような事情を鑑み、震災以来見守り続けてきた子どもたちに加えて、病気や事故で親を亡くした子供たちへのグリーフケアに力を入れて参ります。今回の「みやぎチャレンジプロジェクト」でお願いをする募金の使途は、グリーフケア実践の諸経費に宛てます。毎週開催のプログラム(光熱費・おやつ代・遊具費用・送迎の燃料費)、子ども食堂の食材費、イベントの運営費の他、訪問活動(子どもの見守り・養育者の相談)の燃料費や、学習支援(対面・リモート)の教材費等々を予定しております。また、今年度は拠点とするトレーラーハウスの修繕費も予定しております。

同封致しましたのは、募金活動の趣旨説明と募金用紙(払込取扱票)です。ご一読を賜りますれば幸いです。クレジットカードでのご寄付は、みやぎチャレンジプロジェクトのウェブサイトよりお手続きいただけます。また、お知り合いに弊社団にご賛同を賜ります方がいらっしゃいますならば、ぜひご紹介を頂きたく存じます。

末筆とはなりませんが、いまだ新型コロナが猛威を振るう中、皆様におかれましては何卒ご自愛ください。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

謹白